

件名

芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム推進事業について

(仮称) 国際工芸美術館整備及び国際版画美術館との一体的整備について協議する場を求める請願

請願主旨

「芹ヶ谷公園をより良くする市民の会（以下、市民の会と表記）」では「“芸術の杜”パークミュージアム」について幅広く意見を伺う為に市長・議員候補者へアンケートの実施、シンポジウム等の意見交換を計9回行ってきました。意見交換や市主催の各イベント等の詳細まで踏み込んだ分析をするなかで、市民への周知不足や市と市民との対話の場の不足という課題が見えてきました。

上記を受け、広く公開された形で市民なら誰でも参加できる説明・要望を取り交わす機会、対話の場の必要性等を訴えるため、市民の会では4回に渡り、市へ要望書を提出致しました。

2022年3月の市議会において、本事業のうち、(仮称)国際工芸美術館整備工事費の予算が可決されましたが、「地域との合意には至っておらず、(中略)市民への説明機会、市民から要望を受ける機会を広く公開した形で設ける(文面一部記載省略)」との附帯決議も付されました。

その後、2022年5月26日、29日に町田市主催芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム整備計画説明会が開催されましたが、(仮称)国際工芸美術館整備及び国際版画美術館との一体的整備についての説明会は今回で終了し、整備スケジュール通り今年度着工との回答がありました。

市民の関心は高く、満席で受付を閉め切れなかった市民もいたほどです(2022年5月29日午前の部)。各回とも、参加した多くの市民が質疑し、予定時間を大幅に超えました。しかし、市側から納得する応答は得られず、この説明会で十分理解を深めることはできませんでした。また、この説明会の開催を機に、継続して市と市民が話し合いを続けていくべきとの意見も多数上がりました。

市政推進(ここでは公共施設再編計画の推進)の第一歩は、まず「市民との共通理解」を得ることです。そして具体的な再編の取り組みでは、市民参画・市民協働が大事とされています(2018年6月「町田市公共施設再編計画」176頁参照)。関係団体や広く市民が参加できる「対話の場」を設定して、実りある取り組みを進めるようにしてください。

請願項目

1. 2022年3月議会での附帯決議に基づき、(仮称)国際工芸美術館整備事業及び国際版画美術館との一体的整備について市民の理解を深めるために、市民への説明の機会、市民からの要望を受ける機会を、広く公開して設けてください。また、その場は専門家も含めた市民と協議する場としてください。